

結核の知識



NO、76

結核とは「結核菌」という細菌によって空気感染する感染症です。結核は全身のいろいろなところに病気を作るのが特徴です。

■ 結核菌におかされやすい臓器としては

リンパ節、骨、関節、脊髄（脊髄カリエス）、腎臓（腎結核）、膀胱、咽頭、腹膜、腸、眼や耳、皮膚、生殖器、血流（粟粒結核）、脳（結核性髄膜炎）などがあげられます。

■ 結核の症状

全身倦怠感、食欲不振、体重減少、37℃前後の微熱が続く、就寝中に寝汗をかく、咳が2週間以上続く（時には血痰を伴う事もある）など風邪のような症状があります。（こんな症状が続いたら早めに受診しましょう）



■ 結核の検査

★ 胸部X線（病巣部分が影のように写ります）

★ ツベルクリン反応検査

（体が結核を認識していると、注射部分が赤く腫れ、陽性になります）

★ 痰の検査（痰の中の結核菌の有無をみます）



■ 結核はどんな時にうつるのでしょうか？

★ 結核菌は重症の結核患者が咳やくしゃみをした時に飛び散り、それを周りの人が吸い込むことによってうつります。



★ 結核菌は換気の悪い狭い場所が大好きです。結核患者がその場にいなくなっても、飛沫が滞留しますので感染の可能性があります。

★ 集団生活などの多い都会では感染率が高くなります。

■ 結核の発病

結核は感染しても、必ずしも発症するとはかぎりません。（発症してもタンの中に菌のない人は、移しません）

★ 免疫力のある方は結核が10年～何10年と冬眠状態にあり、それから発症することがあります。（免疫力が落ちた時など）

★ 感染初期に免疫力が弱かった方は菌が増殖して、死にいたることもあります。

★ こんな方は結核発病のリスクが高い。

- 1、免疫力の弱い乳幼児や高齢者
- 2、不規則な生活、ストレスを抱えている方
- 3、HIVに感染している方
- 4、胃潰瘍や胃の切除をした方、糖尿病の方、人工透析や腸のバイパス手術を受けている方などはリスクが高くなります。



■ 結核の治療（もしかかってしまったら）

★ 結核と診断された時は、4種類位の投薬を6ヶ月間位続けます。タンの中に菌が出なくなると完治または外来治療が可能になります。

★ 結核は継続治療が必要です。結核予防法により治療費の一部又は全額の公費負担がありますので、最寄の保健所にご相談ください。

■ 結核の予防

★ 抵抗力のない赤ちゃんが感染すると生命にかかわることがあります。結核の免疫をつけるための予防接種BCGを生後6ヶ月内に受けましょう。



★ 良い生活習慣を身に付けて抵抗力をつけていれば感染しても発病しない可能性があります。（十分な睡眠とバランスのよい食事、適度な運動を心がけましょう）